

シカ被害対策技術交流会の開催

近年深刻化しているシカ被害対策及びジビエ活用に取り組んでいる方々をお招きし、シカ被害対策技術交流会を開催します。

1 趣 旨

近年、近畿中国地域では、ニホンジカ（以下「シカ」という。）の個体数の増加、分布域の拡大が顕著であり、シカによる農林業被害等の防止対策を講じる上で、国・府県・市町村・猟友会・研究機関等関係者が連携し、地域の実情に応じた被害対策を推進することが重要となっています。

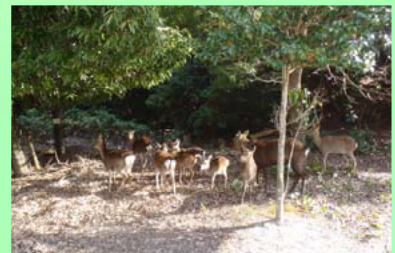
また、被害防止対策の一環として捕獲した鳥獣を地域資源として有効活用する観点から、ジビエ利用としての利活用推進に必要な取組や課題を、捕獲・処理加工・供給・消費の各段階において共有し、関係者が一体となって取り組むことが必要です。

更に、シカ被害対策が各関係機関等で実施されているなか、安全対策を確実に行うことが不可欠です。

このことから、シカの被害対策、ジビエ活用、安全対策等について、幅広く情報を共有・発信し、シカ被害対策等の一層の推進につなげることを目的として「シカ被害対策技術交流会」を開催します。

2 開催日時及び場所

- (1) 日時：令和2年3月3日（火） 10：00～16：00
- (2) 場所：大阪市都島区中野町5丁目12-30
大阪リバーサイドホテル 4階



（群れをなすニホンジカ）

3 議 題

- (1) 基調講演（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (2) 講演・情報提供（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (3) 総合討論

4 共催・協力

共催：林野庁 近畿中国森林管理局
（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
環境省 近畿地方環境事務所
協力：農林水産省 近畿農政局



5 その他

- (1) 本技術交流会は、一般の方も傍聴可能です。 （シカの食害により下層植生が衰退）
- (2) 傍聴希望者は、2月26日（水）までに下記の問い合わせ先に事前の参加申し込みをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

林野庁 近畿中国森林管理局
計画保全部 保全課
野生鳥獣管理指導官 洲上（ふちがみ）
電話：06-6881-3443
E-mail：h_fuchigami640@maff.go.jp

【別紙】

講演者及びスケジュール

- 1 開会挨拶 近畿中国森林管理局長 (10:00 ~ 10:05)
- 2 基調講演 題目：人間と野生動物の関わり
早稲田大学 人間科学学術院人間科学部 名誉教授
理学博士 三浦 慎悟 (10:10 ~ 11:10)
- 3 講演 【第1部：鳥獣被害対策・ジビエ利活用】
 - ①水源林造成事業におけるシカ被害対策について
～ブロックディフェンスの取り組み（中部整備局）～
（国研）森林研究・整備機構 森林整備センター
中部整備局 北村 智也 (11:10 ~ 11:40)
 - ②ジビエ利用による地域振興
特定非営利活動法人cambio
理事長 後藤 高広 (11:40 ~ 12:10)
 - ③新たなシカ被害対策の取り組み
～小林式誘引捕獲及び治山事業における進入防止工法について～
近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
小林正典 小澤和也 (13:10 ~ 13:40)

【第2部：獣害対策における安全管理】

 - ④マダニが媒介する動物由来新興感染症対策のための野生動物管理
（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所
生物多様性研究拠点長 岡部 貴美子 (13:40 ~ 14:10)
 - ⑤捕獲のリスク 課題と対策について
静岡県 暮らし・環境部環境局自然保護課
主査 大橋 正孝 (14:10 ~ 14:40)
- 4 情報提供 ①捕獲個体の適正処理に関するガイドブック
（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
主任研究員 八代田 千鶴 (14:50 ~ 15:00)
- ②ジビエの利活用推進
近畿農政局 農村振興部農村環境課
課長 迫 和明 (15:00 ~ 15:10)
- 5 総合討論 コーディネーター
（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所
野生動物研究領域長 岡 輝樹 (15:10 ~ 15:55)
- 6 閉会挨拶 （国研）森林研究・整備機構
森林総合研究所 関西支所長 (15:55 ~ 16:00)